

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 572184)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 築港中学校

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 600,000 円 → 決算額 582,200 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 4学級 + 1学級 × 50,000		

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= 600,000
-------	---

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(平成30年度 88.8)
- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。
- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ・ 平成31年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- ・ 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点(教育振興基本計画の成果目標)の向上に向けて、前年度までの課題や現状を踏まえ、反復横とびの平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。
- ・ 平成31年度末の生徒アンケートにおける「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすく学力目標に対する達成状況(取組完了時)

- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

→2年生は、昨年度0.882、今年度0.930。3年生は、昨年度0.951、今年度0.965となり、目標を達成できた

- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。

→2年生は、2.8ポイント減少したが、3年生は、昨年と同じであった。低学力層の学力向上に課題が残った

- ・ 平成31年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。

→2年生は、8.5ポイント増加し、3年生は、5.7ポイント増加し、目標は達成された。

- ・ 平成31年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

(前年度66.1%) 「授業で自分の考えを主とめたり、発表したりすることができます」に対して、肯定的

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

地域とともに取り組む保健体育科授業の充実

- 運動する楽しさを体験させるため、身近な体育施設等を有効に活用した取組みを推進する。
- 学校元気アップ地域コーディネーターと連携を図り、様々な行事への参加を促し、家庭・地域とともに健康についての意識を高める。

取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

ICTを活用した教育の推進

- ICT支援員を活用し、各教科の特性を考慮した授業づくり研修を教科別に行うことで、デジタル教科書、デジタル教材をはじめとするデジタルコンテンツや電子黒板、プロジェクター、タブレットなどのICT機器を効率的に活用した授業に対するスキルアップを行う。
- 全教科で、ICT機器を有効に活用し、視聴覚等に訴える生徒が意欲的・主体的に取り組める教材を開発し、研究授業を行う。
- 音楽科、体育科、美術科を含めすべての教科でICT機器を活用した授業に対応するためICT環境の更なる整備を図る。
- プログラミング教育推進のため、ロボットの取り組みを進め、ロボットの操作に興味を持ち、一般のロボットコンテストに参加する生徒を育成し、コンテストで一定の成果を上げることで、すべての生徒がプログラミングの重要性を理解し、意欲をもってプログラミング学習に臨める環境を作る。
- 大阪市プログラミング教育推進協力校として、区役所や関係機関とも連携しサイエンスカフェなど多く機会でプログラミングに興味関心を高める体験型学習や展示発表の取り組みを図っていく。小学校からのプログラミング教育を小中連携して行い、プログラミング教育を9年間のスパンで推進できる環境を作る。

取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

指標

- 大阪プールスケートリンクにおいて、スケート協会や区役所と連携したスケート教室を2回以上開催する。
- 体育授業において地域女性会の協力を得て、地域特別授業として「盆踊り」を実施（教職員・各学年）を行う。

取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

指標

- ICT機器を活用した授業づくりのための研修会を複数回行う。
- すべての教科で、ICT機器を活用した研究授業と研究協議を行う。
- 年1回以上一般のロボットコンテストに参加し、その内容を全校生徒に発信するとともにホームページを活用し広く発信する。
- 年1回以上連携する小学校で、ロボットを活用したプログラミング教育の出前授業を行う。
- 平成30年度の生徒アンケート「ICTを活用した授業に取り組んでいると思うか」を肯定的に答える生徒を前年度以上にする。

取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】

指標

- 取り組み後にアンケートを実施し、テーマについて「共生の社会について理解できた」と答える生徒の割合を80%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

盆踊りは6月に土曜授業にて全学年実施

大阪プールでのアイススケート教室は大阪府アイススケート協会から講師を呼んで、11月12日19日に実施

取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

今年度からICT支援員が常駐でなくなったのにもかかわらず、各教科の特性を考慮した授業づくりや研修を行い、デジタル教科書、デジタル教材をはじめとするデジタルコンテンツや電子黒板、プロジェクター、タブレットなどのICT機器を効率的に活用した授業に対するスキルアップはできている

校内研究授業としては、英語科・技術科において新任研修の公開授業を実施

大阪教育大学の寺島先生を招いてタブレットの活用授業についての研修会を行った

昨年度は全教科ICTを使っての研究授業をすることになっていたが、今年度はICTを使った研究授業として位置付られていないかったため、実際はICT機器を使わない研究授業を行った教科もあった

今年度は、ロボットコンテストには参加できなかったが、小中連携出前授業で、ロボットを活用したプログラミング教育を2月に実施した

平成31年度の生徒アンケート「ICTを活用した授業に取り組んでいると思うか」を肯定的に答える生徒が前年度 84% から今年度は 98.2% と大きく向上し、目標を達成できた。

B

取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】

後期に視覚障害体験・車いす体験などの疑似体験やエイジレスセンターでの体験学習を実施し、事後アンケートの結果、「共生の社会について理解できた」と答えた生徒の割合が約90%であった。

取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】

3年生において「進路学習が、自分の進路決定の役にたった」と答えた生徒の割合が89.2%と回答を得ており、おののが自分自身で選択した進路希望先へと進んでいっている。

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入**学力向上に関して**

昨年通り、習熟度別少人数授業等の、取り組みは昨年通り継続し続ける。

加えて、ICT機器を活用した授業をより効率的に進めるための、ソフトウェアの導入や、ボード型のコミュニケーションツールを導入し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることで、さらなる学力の向上を図る。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 地域とともに取り組む保健体育科授業の充実		A

①予算内訳		
スケート場専用使用料 @10,000×2= 20,000円		
貸し靴料 @400×72×2 = 57,600円		
講師料 @5,000×6×2 = 60,000円		
	計157,600円	
②決算内訳		
14-01スケート場専用使用料 10,000× 2=20,000円		
14-01貸し靴料 400×124=49,600円		
08-01講師料 5,000×9=45,000円		
	計114,600円	

(2) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICTを活用した教育の推進		A

①予算内訳		
学習ソフト(みんなの学習クラブ タブレット版) @280,000×1 =280,000 円		
	計280,000円	
②決算内訳		
11-01学習ソフト(みんなの学習クラブ タブレット版) @196,992×1=196,992円		
11-01プリンタ @ 37,602×1=37,602		
11-01補充インキ @ 2,358×1=2,358		
11-01黒板シート @ 38,400×5=192,000		
11-01SDカード @ 7,600×4=30,400		
	計459,352円	

(3) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 共生教育の推進		A

①予算内訳		
2年校外学習(生徒) ATCエイジレスセンター交通費 @144×2×37 =10,656 円		
2年校外学習(教員) ATCエイジレスセンター交通費 @162×2× 5 =1,620 円		
②決算内訳		
12-01 ATCエイジレスセンター交通費 @288×33 =9504 円		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

委員会使用欄は空欄としてください。